

令和1年8月

愛知県トラック事業健康保険組合から被保険者の方へ

## 『重症化予防に伴う受診勧奨通知のご案内』について

平素は、当組合の医療費適正化にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

表記につきましては、平成30年度の一次検診結果から異常値を示しているにも関わらず、未だ医療機関を受診されていない方に対し、通知をさせていただいております。

なお、対象者の抽出につきましては以下の条件で抽出させていただきました。

項 目			正常値	受診勧奨値
基準値	収縮期血圧	mmHg	130 未満	160 以上
	拡張期血圧	mmHg	85 未満	100 以上
	血糖	mg/d l	110 未満	140 以上
	HbA1c	%	5.6 未満	7.0 以上
	中性脂肪	mg/d l	150 未満	400 以上
	HDL	mg/d l	40 以上	30 未満
	LDL	mg/d l	120 未満	180 以上

上記、検査項目の判定結果が、『要精密』あるいは『要再検』などにつきましては、精密（二次）検診の補助対象となりますが、判定結果が『経過観察』の場合は補助対象外であり、特定保健指導対象（平成30年度より特定保健指導が全額健保負担となりました）の可能性がありますので、医師、保健師、管理栄養士の指導の下、生活改善に努めてください。

このまま医療機関を受診されない状態が続きますと、動脈硬化を発症し、やがて心筋梗塞や脳梗塞により倒れてしまう恐れがあり、もしこれが運転中や作業中であれば更に、最悪の状況が考えられます。

医療機関を受診することによって、病気の重症化を予防及び医療費の節減、あるいは会社における安全配慮及び労働力の確保に繋がるものと考えております。ご家族の為にも会社の為にも一刻も早い医療機関への受診をお願いいたします。

この通知が届く前に、すでに医療機関を受診し治療に入っている方などにつきましては、行違いでの発送をご容赦ください。

なお、事業主様より当組合に対して受診勧奨該当者の確認依頼があった場合は、その旨ご報告させていただきます場合がございますので宜しくをお願いいたします。



# あなたの健診結果には、 「医師の診察を受ける必要がある」 項目がありました。

健診受診月  
2019年02月  
作成月  
2019年07月

監修 / 京都大学大学院  
医学系研究科 教授  
中山 健夫

あなたは、  
⊖マークの  
生活習慣病の  
可能性が  
ありそうです。

糖尿病

高血圧症

脂質異常症



検査結果から  
可能性のある疾患に  
⊖マークを付けています。

生活習慣病は放置すると重篤な状態を引き起こし、生活や仕事にも支障が出てしまいます。  
生活習慣病は多くの場合、**自覚症状がありません**。しかし、放置していると、慢性的な合併症や  
全身の動脈硬化症が促進され、これが心筋梗塞や脳梗塞の原因になります。

今のあなたは、⊖のステージに  
該当する可能性があります。  
早めに医療機関を受診しましょう!!



このまま放置せず、  
早く医師による治療を  
受ける必要が  
ある状態

このまま放置すると、  
近いうちに心筋梗塞など  
重篤な病気が  
起こり得る状態

6

- 透析
- 心筋梗塞
- 脳梗塞

5

- 腎不全
- 高血圧症
- 糖尿病
- 動脈硬化症

リスクが高く、  
医師の診察を受ける  
必要がある状態

4

- 高血圧境界域
- 耐糖能異常

リスクが  
重なり始めた状態

3

リスクが  
出始めた状態

2

リスクが  
ほとんどない状態

1

※リスクとは、糖尿病などの生活習慣病と診断される検査項目の数値が悪くなっている状態のことを言います。

ウラ面をご覧ください▶

当健保組合では健診後のレセプトを確認し、  
受診が確認できなかった方について医療機関への受診を  
勧奨する仕組みを構築しています。



健康保険組合からのお知らせです  
〒467-0856  
愛知県名古屋市瑞穂区新開町12-6  
愛知県トラック事業健康保険組合  
TEL:052-882-9686



対象期間：2018年04月～2019年03月

対象者：血糖や血圧、脂質の検査で、基準値（疾患の診断基準を元にしています）以上に達し、健診受診後に通院履歴が確認されなかった方へ通知しています。

・分析期間（タイムラグ）の関係で、既に医療機関を受診している方にも送付される可能性があります。予めご了承ください。  
 ・既に他の疾患で医療機関を受診している方は、血糖や血圧、脂質の検査を定期的に測り症状の悪化予防をお勧めいたします。



## あなたの健診結果をもう一度確認しましょう。 [あなたの最近の健診結果]

	空腹時血糖値	HbA1c	最高血圧	最低血圧	中性脂肪	HDL コレステロール	LDL コレステロール
	mg/dl	5.8 %	111 mmHg	64 mmHg	78 mg/dl	44 mg/dl	187 mg/dl
リスクが高い							あなた
組合などの 受診勧奨基準	140以上	7以上	160以上	100以上	500以上	30未満	180以上
		あなた	あなた	あなた	あなた	あなた	
リスクが低い							
学会などの 受診勧奨基準	126以上	6.5以上	140以上	90以上	300以上	35未満	140以上

※病院受診勧奨基準とは、糖尿病学会・動脈硬化学会・高血圧症学会の現時点での診断基準に基づいています。学会での動向に応じ、変更されることがあります。

**あなたの検査結果は、早く医療機関を受診して再検査を受ける必要のあるものがあります。  
 まだ医療機関を受診されていない場合は、早めに内科を受診してください。**



TOPICS  
 ほんたうかしの  
 リスク

## 脂質異常症はあなどれない

～脂質異常症から始まる、生活習慣病の合併症～

### 痩せている人も要注意！

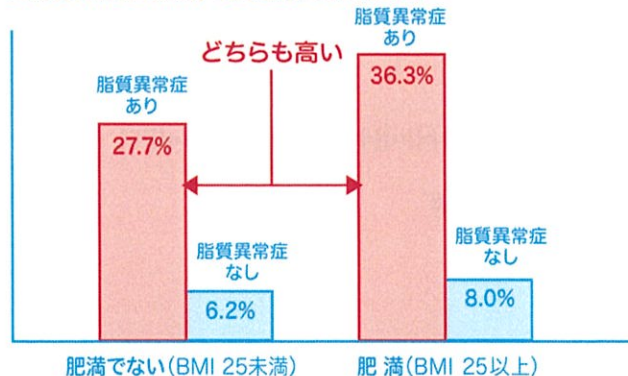
一見痩せている人は、つい「自分は健康」と過信しがちですが、血液検査で中性脂肪やコレステロール値の異常値に気がつく人も少なくないようです。「太っている」「痩せている」に関係なく心筋梗塞や脳梗塞などの合併症を発症するリスクは同様の結果が得られました。

### 「自覚症状がない」として放置すると...

中性脂肪やコレステロール値の異常は「脂質異常症」と呼ばれ、自覚症状が無い場合放置されやすい傾向があります。その結果、血管の壁に血液中のコレステロールが付着して動脈硬化が進行し、「気づいたら心筋梗塞や脳梗塞など命に関わる病気を起こしていた」という事があるようです。

標準体重でも血液検査で、  
 コレステロール・中性脂肪が高めの人は要注意です！

### ■脂質異常症有無別 3大生活習慣病併存率



※BMI (Body Mass Index) : 身長からみた体重の割合を示す体格指数。標準は 22、25 以上で肥満とされる。

- 分析対象者（生活習慣病患者）を 100% とした場合の、BMI 区分別合併症患者数を比較
- 分析対象：30～59 歳 男女 49,547 人のレセプトデータ（診療報酬明細書）
- 分析期間：2009 年 3 月～2010 年 2 月

データ出典 / (株) J M D C